



ご支援の皆さまへ

**2016年度 活動報告書**  
**2017年度 活動計画書**

2016.07.31/02

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室

親と暮らせない子どもたちを支援する「子どもデザイン教室」の物語は、2006年の5月から始まります。当法人の監事である今中博之氏(社会福祉法人素王会 理事長)との話し合いの中から生まれました。2002年から高等学校などで学校教育に携わってきた私は「なぜ学校教育にデザインがないんだろう?」とデザイン教育の必要性を感じていました。「それなら自分が長年、広告デザイン業界で培ってきたスキルを子どもたちに教えよう」当初はそんな意図が発想の始まりでした。

ところがその話を今中氏にすると、暫く考え込まれたあと、「子どもをより金持ちにする方法を教えてどうすんの?世の中には金持ちになりたくても、なられへん子がおんねんよ」と諭されました。そして、親に頭から熱湯をかけられた女の子の話がされました。お昼に出して頂いたおうどんに箸をつけられず、冷え冷えになったのを覚えています。その頃、児童養護の児の字も知らなかった私が、あれから11年。今ではなぜか通算で12人の里親をしています。

将来が真っ白で、何にでも一生懸命な子どもの可能性が私は大好きです。一方で、第4次産業革命が進展し、コンピュータ社会の台頭と共に、誰もがデザインできる時代になってきました。現役デザイナーの終わらせ方と自分自身の新しい使命を模索し、その頃の私は経済的にもどん底でした。そんな私が夢見た世界が今、徐々に実現しようとしています。やはり「自分の人生をデザインすること」は重要です。

さて、ここに2016年度の活動報告をさせていただきます。今年で子どもデザイン教室は創設10周年を迎えました。これからも親と暮らせない子どもたちの未来を照らすランプになれるよう、創造と努力と発信を重ねてまいります。そして、この4月から子どもデザイン教室では、子どもの成長に合わせて3歳から22歳まで、お絵かき工作から自立支援まで繋がる新しいレッスンを展開してまいります。名付けて「自分デザイナーを育てるレッスン」。自分の人生が設計できる人を育てます。私はよく子どもたちに話しています。諦めない限り夢は叶うと。こうした活動ができるのもすべて皆様のお力添えの賜物です。皆様、本当にありがとうございます。そして、これからもより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室  
代表理事 和田 隆博

## 目次

### 2016年度 活動報告書

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 学習支援:子どもデザイン教室事業の活動概要と活動報告        | 04 |
| 自立支援:子どもデザイン基金事業の活動概要と活動報告        | 11 |
| 養育支援:子どもサポートホーム事業の活動概要と活動報告(個人事業) | 17 |
| 平成28年度 決算報告書・活動計算書・貸借対照表・財産目録     | 19 |

### 2017年度 活動計画書

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 学習支援:子どもデザイン教室事業        | 25 |
| 自立支援:子どもデザイン基金事業        | 39 |
| 養育支援:子どもサポートホーム事業(個人事業) | 42 |
| 平成29年度 活動予算書            | 43 |
| 2017→2022 直近5年間のロードマップ  | 44 |



## 2016年度 活動報告書





## 学習支援:子どもデザイン教室事業の活動概要

このレッスンの主旨は、1年間かけて「ゆるキャラグッズを作り、売る」というものです。その目的は、①将来の困難にも立ち向かえるよう、創造力、努力、対話力を育てること。②自己肯定感を高めるために、できる自分に出会うこと。③働くイメージを高めるために、モノ・サービスを作り、売り、利益を得る、という社会の基本を学ぶことの3点です。まるで遊ぶかのようなレッスンを通して、自ら学ぼうとする力、今日より明日をよくしようとする力、つまり、生きる力を育てています。私たちは、生きる力という消えない炎を子どもの心に灯したい、そんな想いで1年のレッスンを続けました。

## 学習支援:子どもデザイン教室事業の活動報告

### ●まとめ

事業名称: 子ども、とりわけ親と暮らせない子どもの「生きる力」を育てるデザイン教育事業

期 間: 平成28年4月1日～平成29年3月31日

場 所: 子どもデザイン教室

実施内容: 年間を通じたデザイン教育プログラム「遊びながら学ぶレッスン」の提供

実施目的: 対象児童の自己肯定感、生きる力の向上による「自分デザイナー」の育成

受講生数: 合計75人、延2,232人

一般家庭49人(全体の65%)・社会的養護児童26人(全体の35%)

一般家庭延1,782人(全体の80%)・社会的養護児童延450人(全体の20%)

達成率: 150%(目標受講生数50人に対して合計75人)

実施回数: 302回、実施日数: 158日(週3日×4週×12ヶ月×2回)+12日+2日

習 熟 度: 当初目標1級～5級20%・6級～10級80%に対して、最終結果、1級～5級68%・6級～10級32%

満 足 度: 平均82.9%(アンケート回答者11ヶ月合計1,919人に対して満足度70%以上と答えた児童1,591人)

達成率: 104%(目標満足度80%以上に対して11ヶ月平均満足度82.9%)

従業員数: 6人(内有給2人、無給4人)

ボランティア: 4人

提携機関: 大阪市立デザイン教育研究所・児童養護施設6施設(常照園・入舟寮・四恩学園・聖家族の家・助松寮・あおぞら)

### ●自己評価

①一昨年のテレビ報道、広報活動により一般家庭の受講生が増えました。

→結果、社会的養護児童の比率が低くなりました。一方で収益性は向上しました。

②本来教えるべき効果が最大化する中高生の参加率が減少しました。

→原因はクラブ活動と、教室の効能の理解が至っていないことです。今後はさらなる周知が必要です。また、中高生の参加率を高めるための専門的なレッスンが必要です。

計画していた大阪市里親会との計画していた協働が十分に機能しませんでした。

→今後は社会的養護児童の比率を高めます。

④対象年齢が4歳から18歳までと幅広く、単一のレッスンでは対応できなくなりました。

→年齢・技能に対応した育成レッスンが必要です。

⑤業務が代表理事に集約され、円滑な業務推進に苦労しました。

→期末に新たなスタッフが加入し、業務の分業が可能になります。



#### ●今後の事業計画

子どもデザイン教室は2017年度で丸10年を迎えます。「子どもデザイン教室に通ってよかった」と保護者、施設職員、里親に実感してもらえよう、10周年を機にレッスンスタイルを新たに4つのクラスに分けることにしました。新カリキュラムでは、子どもの成長に合わせて3歳から22歳まで、お絵かき工作から自立支援まで繋がる新しいレッスンを展開します。名付けて「自分デザイナーを育てるレッスン」です。こうして私たちは、自分の人生が設計できる人を育てます。子どもデザイン教室の将来構想は、児童養護施設・里親宅を巣立った若者が、やがて子どもデザイン教室で働き、さらに次の児童養護施設・里親宅で暮らす子どもを育てる、そんな地域の小さな福祉拠点を作ることです。

#### ●4月のレッスン「キャラクターをデザインしよう」をしました。

4月はこの1年のベースとなる自分オリジナルのゆるキャラをデザインするレッスンをしました。1週目は昨年アンケートとこれから1年のオリエンテーションをしました。2週目は東京2020大会にエンブレムの品評会とゆるキャラの下描きをしました。3週目は下描きに色鉛筆で着色し、コンピュータ化の準備をしました。4週目はコンピュータで着色をしました。空き時間にグループになって新聞紙でタワー作りをし、発想力とコミュニケーション力を高めるレッスンもしました。

- 延べ172人参加・満足度71%(有効回答者延べ142人中、レッスン内容がいいと答えた子ども101人)
- 火曜日=5日・12日・19日・26日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=7日・14日・21日・28日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=9日・16日・23日・30日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00

#### ●5月のレッスン「葉書をデザインしよう」をしました。

5月のレッスンは「葉書をデザインしよう」でした。1週目はコンピュータの使い方を学んでから、ゆるキャラの性格や背景を物語にしました。お話の少ないクラスは対話力の基礎をゲーム形式で学ぶ体験もしました。2週目はコンピュータの使い方を学んだ後、葉書に入れる文案をコンピュータに入力しました。AI(デザイン業界標準の描画アプリ)上の葉書台紙に、その文案とゆるキャラを配置しました。ゆるキャラと文案の色、大きさ、配置をデザインしました。

3週目からは異なるデザインの複数案を考えました。早くできた子はiPadでイラストの描き方を学びました。難解な学びや操作が中心だったので、満足度は70%でした。これは恐らく過去最低記録です。しかしその分、得るものは大変多かったと考えています。

- 延べ181人参加・満足度70%(有効回答者延べ163人中、レッスン内容に満足と答えた子ども114人)
- 土曜日=7日・14日・21日・28日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 火曜日=10日・17日・24日・31日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=12日・19日・26日・6月2日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

#### ●6月はレッスン「ピンバッジをデザインしよう」をしました。

6月はピンバッジ作りのレッスンでした。いつもレッスンは今月の説明から始まります。それをノートに書き留めます。話の主旨をキャッチできるかは学びの姿勢として大切です。機会あるごとにその練習をしています。レッスンは2つの工程に分かれました。一つはピンバッジを演出するラベル作りです。ゆるキャラの世界を絵や文字で表現し、それをコンピュータでデザインしました。もう一つは本体のピンバッジ作りです。

最初に油粘土で試作品を作りました。その後3週に渡り、オープンで焼くと陶器になるフィモ粘土で本制作をしました。手際よく10個以上作れる子、拘りすぎて2個程しか作れない子、色々でした。苦心したピンバッジが並ぶかわいい姿は壮観です。





○延べ184人参加・満足度94%(有効回答者延べ192人中、レッスン内容に満足と答えた子ども180人)

○土曜日=4日・11日・18日・25日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00

○火曜日=7日・14日・21日・28日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○木曜日=9日・16日・23日・30日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

### ●7月はレッスン「お菓子をデザインしよう」をしました。

7月のレッスンはお菓子作りでした。説明を聞き取り、自分のキャラクターのクッキーを作るのですが、決められた分量で厚さ1cm、同じ大きさのものを6個作るという規定を設けました。適当に作ることは簡単です。しかし、考えて作る行程にデザインの意味が生まれます。第1週は試作品を作りました。2人1組になり、生地を作りました。ただし、殆どの子どもがうまく作れませんでした。第2週は本制作をしました。2人1組になり、同じように作りました。2回目ともなると、前回の反省を踏まえて、工夫して作る子が徐々に現れ始めました。

試作のように行き当たりばったりでなく、予め生地を6等分する子、1個の分量を推測しながら作る子、それを横目で見ながら作る子など、半数位の子は規定通り、生地を余らすことなくクッキーが作れました。苦労した分、おいしさもひとしおだったようです。第3週からは「こどキャラかき氷+クッキー販売会」の準備です。まず最初に実際のかき氷の試食をしました。「あまい!ふわふわ!」と大好評でした。その後、販売会の要綱を把握し、看板のデザインをしました。初めてのことでアイデアを描くのに苦労していました。

利益の使い道も話し合いました。利益の一部で販売に参加する中学生にクオカードを買い、残りは全額、熊本地震で被害にあった人たちの寄付することにしました。第4週は看板のデザイン画を参考にして、段ボールで看板を制作します。完成が楽しみです。

○延べ182人参加・満足度79%(有効回答者延べ172人中、レッスン内容に満足と答えた子ども136人)

○火曜日=5日・12日・19日・26日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○木曜日=7日・14日・21日・28日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○土曜日=9日・16日・23日・30日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00

### ●8月はレッスン「かき氷を販売しよう」をしました。

8月のレッスンは、8月14日㊤に長居のキンチョウスタジアムで開催する「こどキャラかき氷販売会」の看板作りをしました。1・2週目は2人1組になり、看板の文字と背景の絵を描きました。おいしそうなお色、遠くから見える色、様々なことを考えて看板を作りました。看板の文字は、切り抜いてから厚みをつけ、背景と貼り合わせました。立体的な飛び出す看板の出来上がりです。早くできた子は他の子の手伝いもしました。かき氷は子どもたちがデザインしたキャラクターがラベルになっています。販売会が楽しみになってきました。

そして迎えた14日。真夏の炎天下、準備を終えていざ本番!とその時、ポツポツゴロゴロ~!急転直下の雷雨になりました。絵に描いたようなタイミングの悪さでした。テントの下で参加者に落雷があってはいけないので、安全な場所に移動して販売会をしました。しかし、販売場所変更の手配に時間がかかり、子どもたち、保護者の方を長時間お待たせしました。危機管理や連絡経路を改善し、次回に活かしたいと思います。肝心のかき氷販売会は目標200個に対して141個を販売し、売上56,400円、4,350円の赤字に終わりました。値段が高いなどの原因ではなく、もっと別の勘所を掴めていないようでした。モノ=満足を売ることは難しいです。しかし、最後まで大きな声で販売をした中学生やボランティアのパワーには素晴らしいものがありました。皆が休憩している間も黙々と看板の設営をした子、自ら進んで募金を呼びかけた子、販売場所から遠く離れた所で「いらっしゃいませ~!」と声かけた子、普段は寡黙なのに大声で声かけた子、感動しました。その点で十分な成果がありました。

そして販売会が終わり、3・4週目は販売会を振り返りと次回の企画案を練りました。次回は何か遊技にしようということで、そのアイデアを出し合いました。新しい企画案を1枚の紙にまとめ、発表し、どの案が一番良いか決めました。早くも次のイベントが楽しみです。



- 延べ169人参加・満足度78%(有効回答者延べ178人中、レッスン内容に満足と答えた子ども139人)
- 木曜日=4日・11日祝・18日・25日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=6日・13日・20日・27日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 火曜日=9日・16日・23日・30日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

●9月のレッスン「絵本をデザインしよう」をしました。

レッスンはクラスごとにどんな絵本にするのか話し合いから始めました。絵本のテーマは「どうしてうまくいかないんだろう?」です。最初にお話の季節や住む世界、配役、時代・年代、各キャラの問題、結末、担当ページを決めました。話し合いではアイデアをカードに書き、多数決をしていきました。カードを色々並べ変えると、意外なお話になっていきます。こうして概要が決まると、カードの文章を絵コンテにしました。10月は絵コンテを元に各担当ページを段ボールに描いていきます。

- 延べ186人参加・満足度81%(有効回答者延べ187人中、レッスン内容に満足と答えた子ども152人)
- 木曜日=1日・8日・15日・29日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=3日・10日・17日・24日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 火曜日=6日・13日・20日・27日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

●10月はレッスン「絵本をデザインしよう」をしました。

10月は前月に引き続き、絵本作りをしました。曜日に分かれて共同作業で絵本作りを進めました。絵本の原画は絵の具と段ボールを使って、飛び出す絵本になっています。絵本作りの狙いは、創造力をつけること、努力すること、そして対話力を身に付けることです。お話作りでは曜日の仲間の意見を聞き、また自分の意見がきちり言える練習をしました。まったく話せない子どもカードに意見を書く人と前で話すことができました。小さい子にはまだ難しい内容でしたが、しっかり学べたと思います。

- 延べ187人参加・満足度89.1%(有効回答者延べ194人中、レッスン内容に満足と答えた子ども173人)
- 土曜日=1日・8日・15日・22日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 火曜日=4日・11日・18日・25日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=6日・13日・20日・27日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

●11月はレッスン「絵本をデザインしよう」をしました。

11月は絵本の仕上げでした。iPadで撮影し、コンピュータで編集しました。編集は小さい子には良い経験となりました。大きい子は慣れた感じで操作できました。その後、印刷・製本と忍耐力のいる作業が続きました。みんな単純な作業が結構好きです。話し合う時間が長く、物語の構成が決まらず、完成まで3ヶ月かかりました。意見が言えない、決められない、そんなもどかしさを感じました。言いたいことやしたいことが喉につかえてる、そんな感じのレッスンでした。反省と成果を次に活かします。

- 延べ185人参加・満足度84%(有効回答者延べ194人中、レッスン内容に満足と答えた子ども163人)
- 火曜日=1日・8日・15日・22日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=3日・10日・17日・24日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=5日・12日・19日・26日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00

●12月はレッスン「お人形をデザインしよう」をしました。

12月はお人形作りをしました。アクリル糸を鋭く尖った針でつついて自分のキャラクターを作りました。1個目は大きく作り、2個目以降は小さくたくさん作りました。お人形作りの狙いは、創造力と集中力を体験することでした。拘りすぎ





て1個しか作れなかった中学生、10個以上作った小学生、細かな細工のお人形を5個も作った幼稚園児、様々でした。しかし、大きな怪我もなく、みんな集中してレッスンを楽しんでいました。みんなの頑張りに拍手を送りたいと思います。

- 延べ185人参加・満足度87.7%(有効回答者延べ179人中、レッスン内容に満足と答えた子ども157人)
- 火曜日=11月29日・6日・13日・20日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=1日・8日・15日・22日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=3日・10日・17日・24日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- +12月11日㊿ 10:00~17:00

### ●1月はレッスン「ポスターをデザインしよう」をしました。

1月は商品展示販売会用のポスターを作りました。デザイン台紙にポスターの設計図を作り、そこから原画をトレスアップしました。それをiPadで撮影・加工し、コンピュータで着色しました。手隙の子は点数が少ないお友だちのお人形を作りました。

- 延べ190人参加・満足度88%(有効回答者延べ182人中、レッスン内容に満足と答えた子ども160人)
- 木曜日=5日・12日・19日・26日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=7日・14日・21日・28日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 火曜日=10日・17日・24日・31日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

### ●2月はレッスン「力を合わせてデザインしよう」をしました。

2月はポスターのパネル貼りをしてから、お人形にラベルつけをしました。難しい作業なので、作業を分担し、協力して進めました。最終週は、ピンバッジの数が少ない子の商品を皆で作りました。さらに、他己紹介や最後の振り返りなど、発表の機会も増やしていきました。いよいよあと1ヶ月で商品展示販売会「こどキャラグッズ販売会」です。目的意識を持ち、準備を進めます。中学生は各自1本ずつ、商品展示販売会用のCM作りを予定していましたが、日程が立て込んだためにできませんでした。

- 延べ190人参加・満足度92%(有効回答者延べ190人中、レッスン内容に満足と答えた子ども175人)
- 木曜日=2日・9日・16日・23日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=4日・11日・18日・25日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 火曜日=7日・14日・21日・28日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

### ●3月はレッスン「お店をデザインしよう」をしました。

3月は今年度最終月です。3月26日㊿開催の商品展示販売会「こどキャラグッズ販売会」にむけて最後の仕上げの月となりました。この一年間頑張った作品を展示台の上に並べ、お客さんにどう魅せるのかを考えました。その後、当日販売するポップコーンの作り方をマスターしました。最終週は当日の準備の仕方、買い手、売り手に分かれて実際のシミュレーションもしました。商品展示販売会はこの一年の集大成です。皆と結果を問おう!そんな思いで販売会を迎えました。

- 延べ197人参加・満足度83%(有効回答者延べ197人中、レッスン内容に満足と答えた子ども163人)
- 木曜日=2日・9日・16日・23日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=4日・11日・18日・25日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 火曜日=7日・14日・21日・もう1日は3月中のいずれかの日にお振り替え頂きました。
- ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- +3月26日㊿ 9:00~16:00



●保護者の皆さんからご意見を頂きました。

子どもの成長がより楽しみ。／作ったり考えたり様々な遊びをするようになった。／名前で呼び合っただけで家族のようで素敵。／教室での経験が子どもの自信に繋がっている。／通わせて本当に良かった。／友達の輪が広がった。／子どもが前向きな考えを持っていることを知った。／普段じゃできないことが経験できる。／優しく導く教育方法が大好き。

●受講生の皆さんからご意見を頂きました。

おもしろくてみんな仲良しで楽しい。／どんなときでも聞いてくれる。／将来に役立つことが学べる。／理解できるまで説明してくれる。／子どもの案を大切にしてくれる。／学校の先生と比べて話しやすい。

●「こどキャラレッスン」を開催しました。

毎月第3土曜日に開催のこどキャラレッスンは、児童養護施設・里親委託の子どもたちと、デザイン教育研究所の学生との協働で開催しました。子どもたちの「もうしんどい、めんどい、もういや！」を「できた！見てみてっ！楽しかった～！次が楽しみ♡」に変える、そんなレッスンです。レッスン内容は通常のレッスンのダイジェスト版です。

創造力と努力を要するレッスンですが、今年からレッスン時間が1時間長くなり、3時間の葛藤を乗り越えて、素敵な商品が出来上がっていました。また、企業からご依頼頂いたキャラクターやイラストを作り、その収益金を親と暮らせない子どもたちの自立資金や学習資金にするレッスンも同時に開催しました。こどキャラレッスンは、一人でも多くの親と暮らせない子どもたちに参加してほしいレッスンです。2012年度から始まったこのレッスン、お陰様で徐々にご賛同くださる児童養護施設の関係者が増えています。

- 4月16日⊕ 13:00～16:00 11人+支援学生4人
- 5月14日⊕ 13:00～16:00 12人+支援学生3人
- 6月18日⊕ 13:00～16:00 10人+支援学生3人
- 7月16日⊕ 13:00～16:00 8人+支援学生4人
- 8月20日⊕ 13:00～16:00 8人+支援学生2人
- 9月17日⊕ 13:00～16:00 5人+支援学生3人
- 10月15日⊕ 13:00～16:00 11人+支援学生4人
- 11月12日⊕ 13:00～16:00 9人+支援学生4人
- +12月11日Ⓜ 10:00～17:00
- 12月17日⊕ 13:00～16:00 7人+支援学生1人
- 1月21日⊕ 13:00～16:00 7人+支援学生2人
- 2月11日⊕ 11:00～16:00 9人+支援学生0人
- 3月18日⊕ 13:00～16:00 8人+支援学生0人
- +3月26日Ⓜ 9:00～16:00
- 年間延べ105人参加(すべて児童養護施設・里親委託児童)・支援学生延べ19人

●「おとなアートレッスン」を開催しました。

毎週金曜日は、おとなアートレッスンを開催しました。絵本を作る人、人形を作る人、イラストを描く人、それぞれの課題に取り組むフリーレッスンです。暖かなお喋りの空間であると同時に、完成までサポートしていきました。

- 4月1日Ⓜ・8日Ⓜ・15日Ⓜ・22日Ⓜ 19:00～20:00 7人
- 5月6日Ⓜ・13日Ⓜ・20日Ⓜ・27日Ⓜ 19:00～20:00 14人
- 6月3日Ⓜ・10日Ⓜ・17日Ⓜ・24日Ⓜ 19:00～20:00 14人
- 7月1日Ⓜ・8日Ⓜ・15日Ⓜ・22日Ⓜ 19:00～20:00 13人





- 8月5日金・12日金・19日金・26日金 19:00~20:00 10人
- 9月2日金・9日金・16日金・23日金・30日金 19:00~20:00 11人
- 10月7日金・14日金・21日金・28日金 19:00~20:00 10人
- 11月4日金・11日金・18日金・25日金 19:00~20:00 7人
- 12月2日金・9日金・16日金 19:00~20:00 11人
- 1月6日金・13日金・20日金・27日金 19:00~20:00 10人
- 2月3日金・10日金・17日金・24日金 19:00~20:00 11人
- 3月3日金・10日金・17日金・24日金 19:00~20:00 12人
- 年間延べ130人参加

●水曜自習室を始めました。

中学生以上専用の居場所として、また勉強の場として、水曜自習室を始めました。この自習室を通して子どもの将来のライフデザインのコーチングを計画しましたが、あいにく周知が至らず、数人が散発的に参加しただけで、あえなく中止となりました。しかし、この企画内容を次年度に繋げていきます。

●児童養護施設 常照園のバザーに参加しました。

吹田市の児童養護施設 常照園で開催されるバザーに似顔絵ボランティアで参加しました。毎年ご好評のこのイベント、今年も大阪市立デザイン教育研究所の協力を得て参加しました。おいしい屋台フーズやお菓子、ゲーム、コンサートと楽しいイベントになりました。

- 11月13日㊿ 10:00~15:00 ○大阪西本願寺 常照園

●恒例のクリスマス会を開催しました。

子どもたちが毎年楽しみにしているクリスマス会を開催しました。今年、子どもデザイン教室を支えてくださった賛助会員(キッズサポーター)の皆様、ボランティアの皆様と共に楽しいひとときを過ごしました。さらにたくさんの方々からお菓子やプレゼントのご寄贈品を頂きました。ゲームをして、お弁当を食べて、デコレーションケーキコンテスト、ビンゴゲーム大会、大盛り上がりの1日でした。

- 12月11日㊿ 10:00~17:00 ○南田辺会館 老人憩いの家

●第3回 商品展示販売会「こどキャラグッズ販売会」を開催しました。

子どもたちが1年間頑張って作ったピンバッジやお人形を1日2時間限りで展示販売する子どもデザイン教室最大のイベントを開催しました。売上は昨年を上回る20万円になりました。この利益は子どもたちのお小遣いとし、残額22,000円を国境なき医師団に寄付しました。

- 3月26日㊿ 9:00~16:00 ○南田辺会館 老人憩いの家



## 自立支援:子どもデザイン基金事業の活動概要

子どもデザイン基金事業は、親と暮らせない子どもたちの自立資金と学習資金を創出する支援事業です。これは子どもデザイン教室のレッスンから生まれてくるキャラクターを商品化し、企業に販売するというものです。こうして生まれた商品を「こどキャラ」ブランドと呼称し、その利益を親と暮らせない子どもたちに還元するユニークなビジネスモデルです。利益の25%を親と暮らせない子どもたちの学習資金として子どもたちの銀行口座に貯金し、残りの75%を親と暮らせない子どもたちのレッスン費用に充当します。企業が収益を上げながら1人の子どもを継続的に支援するという、これまでにない福祉モデルです。

また、子どもデザイン基金事業のもう一つの柱は、寄付金や助成金、寄贈品などを広く皆様のお願するファンドレイジング活動です。このため2カ月に1回、子どもデザイン教室の活動説明会(こどカフェ)を開催し、賛助会員(キッズサポーター)の募集をしています。ほかにも各助成団体の公募助成の申請や寄贈品のお願いをしています。本年度は特に「こどキャラ」のシステムの構築をめざしました。また、SNSや活動説明会(こどカフェ)などを通じて、多くの人と出会うことから始めました。そして、児童養護問題を啓発し、ご寄付やご寄贈に繋がりたいと考えました。

## 自立支援:子どもデザイン基金事業の活動報告

### ●こどキャラ部門まとめ

実績:1,224,141円(計画960,000円・達成率128%)

自立資金:410,200円(計画240,000円・達成率171%)

自立資金比率:収益の33%・学習資金比率:収益の67%(計画 自立資金25%・学習資金75%)

### ●今年度のこどキャラ部門

- 4月9日⊕ 551蓬萊社内報5月号のイラストを納品しました。
- 4月18日Ⓜ USJ様との協働のお話がありました。
- 4月27日Ⓞ 読売新聞大阪本社に社員食堂のこどキャライラスト「ぶわ」「TO☆MATE」を納品しました。
- 5月8日Ⓜ 551蓬萊社内報6月号のイラストを納品しました。
- 5月13日Ⓞ 夙川司法書士事務所にこどキャラ名刺「にっこりえがおのチョウチョさん」を納品しました。
- 5月15日Ⓜ 松浦泰司様にこどキャラTシャツ・トートバッグを納品しました。
- 6月8日Ⓞ 551蓬萊社内報7月号のイラストを納品しました。
- 6月11日⊕ 富田林の自然を守る会にこどキャラ名刺「あたまわるぐま」を納品しました。
- 7月13日Ⓞ 551蓬萊社内報8月号のイラストを納品しました。
- 7月15日Ⓞ 松浦泰司さんにこどキャラ名刺「キラキラ太陽さん」を納品しました。
- 7月22日Ⓞ セレソ大阪様に子どもデザイン教室との協働をホームページでご発表頂きました。
- 7月29日Ⓞ 大阪ガス様にCSRレポートのイラストを納品しました。
- 8月9日Ⓞ 551蓬萊社内報9月号のイラストを納品しました。
- 8月10日Ⓞ マコトフードサービス様にこどキャライラスト「なぞのななお」を納品しました。
- 8月23日Ⓜ 読売新聞大阪本社の社員食堂に児童養護施設 聖家族の家の子どもたちとお招き頂きました。
- 9月7日Ⓞ 551蓬萊社内報10月号のイラストを納品しました。
- 10月4日Ⓞ 551蓬萊社内報11月号のイラストを納品しました。
- 10月20日Ⓞ 林ケミックスの代表取締役様にご視察に来られました。





私たちは子どもデザイン教室を  
支援しています



- 11月11日金 551蓬萊社内報12月号のイラストを納品しました。
- 11月20日日 そば処 山久さんへ児童養護施設 聖家族の家の子もたちとご招待頂きました。
- 11月27日月 マコトフードサービス様と児童養護施設の子もとの就職面接に同席しました。
- 12月5日月 551蓬萊 羅オーナー様のお別れの会に参列しました。
- 12月16日金 551蓬萊社内報1月号のイラストを納品しました。
- 12月20日月 こどキャラ煎茶のイーサポート様がお来社、ご寄付を頂きました。
- 12月24日土 伊藤嘉余子様にごどキャラ名刺「うさたん」を納品しました。
- 1月14日土 551蓬萊社内報2月号のイラストを納品しました。
- 1月17日火 林ケミック様にコーポレートシンボルのイラストを納品しました。
- 2月7日火 551蓬萊社内報3月号のイラストを納品しました。
- 2月22日水 夙川司法書士事務所様にこどキャラ名刺「さかぼん」を納品しました。
- 3月10日金 551蓬萊社内報4月号のイラストを納品しました。
- 3月12日日 渡邊芳枝様にこどキャラ名刺「GISHINN」のデザイン案を提出しました。

#### ●前年度からのこどキャラ部門

##### ①LINEスタンプ「あっちゃん」が発売中です。

子どもデザイン教室の公式LINEスタンプ「あっちゃん」、かわいいキャラがプレゼントにぴったりです。

○150円(税込) ○製造・販売:特定非営利活動法人 子どもデザイン教室

##### ②こどキャラ煎茶「小町特上」が楽天市場で販売中です。

子どもデザイン教室仕様の国産京宇治煎茶「小町特上(100g)」が楽天市場で発売中です。

○1,080円(送料別) ○製造・販売:イーサポート株式会社

##### ③こどキャラソース「超激辛ソース」が販売中です。

カブサイシンプワーのやみつきになる辛さとうまさ!お好み焼きの「風の街」各店で販売中です。

○380円(税別) ○製造・販売:株式会社風の街

##### ④こどキャラおそば「山久のざるそば」が販売中です。

信楽駅前の手打ちそば屋さん。牛すじそばやしいたけそばも深い味わいです。金・土・日・祝日のみ営業しています。

○900円(税込) ○製造・販売:そば処 山久

#### ●ご寄付・ご寄贈部門まとめ

##### ①ご寄付

実績:寄付金1,858,590円(計画1,140,000円・達成率163%)

内訳:個人寄付991,472円 法人・団体寄付867,118円(11社・4団体)

株式会社551蓬萊、株式会社泉州、輸出梱包株式会社、イーサポート株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、デンタルプロ株式会社、株式会社摂津金属工業所、NPO法人ドマーニ、NPO法人子ども自立支援スマイル、株式会社KiDART、NPO法人大楽小楽、大阪NPOセンター、ヤフー株式会社、ソフトバンク株式会社、子どもデザイン教室クリスマス会 ボランティアスタッフ有志一同

人数:キッズサポーター(賛助会員)134人 内訳:単発ご寄付者120人、継続ご寄付者14人

##### ②ご寄贈

実績:金額換算400,000円相当(計画400,000円・達成率100%)

内訳:フードバンク大阪様、井上翔一様、大田香織様、NPO法人ドマーニ様、西井廉剛様、迫田将志様、阪急百貨店様、喜多二郎様、黒川早苗様、松浦康司様、佐々木道正様、久保晶様、大島眞佐子様、他多数



### ●ヤフーネット基金を開始しました。

ヤフー様のご協力で始まったヤフーネット募金、公開から5ヶ月で783人、128,000円のご寄付を頂きました。ご寄付は親と暮らせない子どもたちの学ぶ力＝生きる力を育てるレッスン費用に使います。Tポイントで1円からご寄付頂けます。

### ●前年度からのご寄付部門

#### ①自動継続の寄付システム

ご寄附の皆様が、わざわざお振り込み頂く手間を省いたシステムです。クレジットカードと銀行引き落としの2種類からお選び頂けます。子どもデザイン教室のホームページの寄付サイトからお申し込み頂けます。

#### ②かざして募金

携帯電話から簡単にご寄付頂ける「かざして募金」。ソフトバンクご利用の方なら、携帯電話料金のお支払いと一緒に募金することができます。auやdocomoの方はクレジットカードでご寄付頂けます。たった4回のクリックで100円からのご寄付頂けます。

### ●こどカフェ部門

偶数月の第4日曜日(一部土曜日)、私たちの取り組みの意義や方法、レッスンで子どもたちがどう変わるのか?など、子どもデザイン教室の活動説明会を開催しました。親と暮らせない子どもたちの今を知るユニークな説明会です。キッズサポーター会費(賛助会員費)3,000円以上をご寄付頂きました。参加者の合計は23名様でした。

4月24日㊤ 第1回 活動説明会「こどカフェ」を開催しました。4名様の子供サポーターが増えました。

6月26日㊤ 第2回 活動説明会「こどカフェ」を開催しました。3名様の子供サポーターが増えました。

8月28日㊤ 第3回 活動説明会「こどカフェ」が代表病欠のため開催できず、31日㊤に順延しました。

参加の方には多大なご迷惑をおかけしました。改めてお詫び申し上げます。2名様の子供サポーターが増えました。

10月22日㊤ 第4回 活動説明会「こどカフェ」を開催しました。保護者6名様のご参加がありました。

12月25日㊤ 第5回 活動説明会「こどカフェ」開催しました。3名様の子供サポーターが増えました。

2月25日㊤ 第6回 活動説明会「こどカフェ」を開催しました。5名様の子供サポーターが増えました。

### ●キッズサポーター(賛助会員)にアンケート調査をしました。

説明会を通じて、考えたことや参考になった点、印象に残ったことや気づきをご記入ください。とご質問したところ、以下のお答えを頂戴しました。

○先見性、実践力に感心しました。この方向性やご姿勢を自分の施設の運営に生かしていこうと思います。改めてデザインの力と可能性に気付きました。

○「自分デザイナーを育てる」という言葉が心にひびき、再度お話を聞きに来ました。この考え方や想いは様々な場面にも置きかえて考えることができると思っています。

○子どもデザイン教室の仕組みについて、また、考え方について知ることができ、良かったです。先生のお話しや、教室の雰囲気がとても心地良く、自分も何かのかたちでお役に立てれば嬉しいです。

○活動内容がおもしろく、私でも参加してやってみたいと思う内容だった。このデザインレッスン、創造力×対話レッスンは中・高校の教科にあってもおもしろいなあと思った。子どもが起業しようと思ったり、社会のしくみをしたりするきっかけになって視野も広がりそう。説明は、団体のビジョンや今後を含めて論理的でわかりやすかった。

○普段の生活において、親と暮らすことができない子どもを知る機会はないので、今回は非常に良い機会となった。このような社会問題は、社会全体で考え、解決しなければいけないことだと感じた。そのためにも、子ども達をサポートし、将来に希望を持たせることは長期的に考えると有効であると感じた。デザインをツールとして目的を達成しようとする取り組みに共感できた。





### ●助成金・受賞部門

- 8月8日㊦ 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金の助成事業に選ばれました。
- 10月31日㊦ 大阪市民活動助成事業の中間報告書を提出しました。
- 11月8日㊦ 総理官邸「子供の未来応援国民運動一周年の集い」に出席しました。
- 11月19日㊦ CSOアワード2016でCSO賞と大阪市長賞をダブル受賞しました。
- 1月10日㊦ マイ大阪ガス「Social Design+」2周年企画賞品に1ヶ月無料受講券が採用されました。
- 2月15日㊦ 大阪市民局局長とご対談しました。対談の様子は大阪市のホームページに掲載されました。
- 3月31日㊦ 2016年度 大阪市民活動推進助成事業の最終報告書を提出しました。
- 3月31日㊦ 2017年度 大阪市民活動推進助成事業に採択されました。

### ●広報部門

- 4月6日㊦ 読売テレビ「関西情報ネットten.」で放送されました。
- 4月8日㊦ 「月刊福祉」5月号に活動が掲載されました。
- 4月12日㊦ 副島賢和さんとの対談がWEBマガジン「greenz」に公開されました。
- 6月10日㊦ 活動報告書・活動計画書をホームページに公開しました。
- 7月28日㊦ 2015年度報告書・2016年度計画書を関係の皆様へ発送しました。
- 8月17日㊦～18日㊦ 阪急百貨店 うめだ本店のNPOフェスティバルに参加しました。
- 8月17日㊦ 扇町総合高校 吹奏楽部とトーク&ミニコンサートを開催し、大盛況でした。
- 8月31日㊦ 活動案内と営業案内のフライヤーを刷新しました。
- 9月10日㊦ 全国新聞記事総集誌 JNSE vol20「児童虐待記事読み比べ特集」に掲載されました。
- 9月28日㊦ 周辺地域に受講生募集フライヤーをポスティングしました。
- 10月1日㊦ COOPステーション11月号にご紹介されました。
- 10月29日㊦～30日㊦ 工芸高校OB展「オトナ工芸魂展」に出展しました。
- 11月18日㊦ イオンモール鶴見緑地で開催された大阪市民活動助成事業の中間報告会に出席しました。
- 1月15日㊦ 2015年度の子どもの作品をホームページで公開しました。
- 2月21日㊦ 児童養護施設へ社会的養護児童向け案内フライヤーを配布しました。
- 3月4日㊦～6日㊦ 阪急百貨店 うめだ本店のNPOフェスティバルに参加しました。
- 3月5日㊦ 扇町総合高校 吹奏楽部とトーク&ミニコンサートを開催し、大盛況でした。
- 3月8日㊦ 東住吉区など近隣4区の幼稚園・小学校・中学校に受講生募集フライヤーを配布しました。
- 3月15日㊦ FM COCOLO「PASIFIC OASIS」で商品展示販売会の開催をご紹介頂きました。

### ●講演部門

- 8月8日㊦ 大阪NPOセンターのセミナーに登壇しました。
- 8月20日㊦～21日㊦ 阪急百貨店 うめだ本店のNPOフェスティバルでトークショーに登壇しました。
- 10月19日㊦ 大阪ボランティア協会「CSR社会貢献基礎研修」に登壇しました。
- 11月22日㊦ 児童養護施設 聖家族の家で講演し、受講生の募集をしました。
- 11月27日㊦ 吹田市市民活動公益センターで講演しました。
- 1月27日㊦ 大阪府社会福祉協議会で講演しました。
- 2月4日㊦ 扇町メビック大阪で開催のCB/SB入門講座に登壇しました。
- 3月2日㊦ 田島童園で講演し、受講生の募集をしました。
- 3月4日㊦～6日㊦ 阪急百貨店 うめだ本店のNPOフェスティバルでトークショーに登壇しました。



### ●ニュース部門

- 4月8日(金) 子どもデザイン教室ニュース4月号を発行しました。
- 5月5日(木) 子どもデザイン教室ニュース5月号を発行しました。
- 6月10日(金) 子どもデザイン教室ニュース6月号を発行しました。
- 7月13日(水) 子どもデザイン教室ニュース7月号を発行しました。
- 8月10日(水) 子どもデザイン教室ニュース8月号を発行しました。
- 9月8日(木) 子どもデザイン教室ニュース9月号を発行しました。
- 10月13日(木) 子どもデザイン教室ニュース10月号を発行しました。
- 11月3日(木) 子どもデザイン教室ニュース11月号を発行しました。
- 12月6日(火) 子どもデザイン教室ニュース12月号を発行しました。
- 1月6日(金) 子どもデザイン教室ニュース1月号を発行しました。
- 2月7日(火) 子どもデザイン教室ニュース2月号を発行しました。
- 3月6日(月) 子どもデザイン教室ニュース3月号を発行しました。

### ●その他の部門

- 7月3日(日) 近畿地区里親会大会に参加しました。
- 7月12日(火) 保護者・受講生向けアンケートのお返事を配布しました。
- 7月19日(月) みらいこども財団主催のユヌスSBセミナーに参加しました。
- 7月30日(土) 大阪府立大学の自立支援セミナーに参加しました。
- 8月4日(木)～30日(火) 大阪成蹊大学のインターンシップ生を受け入れました。
- 8月8日(月)～14日(日) 梅花女子大学生のインターンシップ生を受け入れました。
- 9月18日(日) 里親の5年目更新研修に参加しました。
- 10月14日(金) 児童養護関係のNPO法人メリーミーズ様とご面談しました。
- 10月15日(土) 児童養護施設 あおぞら様にご視察に來られました。
- 10月21日(金) 大阪府立大学 伊藤嘉余子先生、東京武蔵大学 前廣美保先生にご視察に來られました。
- 10月26日(火) 児童養護施設 田島童園様とご面談をしました。
- 11月28日(月) 大阪府立大学 伊藤ゼミに共同研究の提案をしました。2017年度3年生ゼミで始動します。
- 12月2日(金) 大阪市里親会主催の研修会に出席しました。
- 12月13日(月) 大阪市地域公共人材派遣の第1回会議を開催、当法人の事業性について意見交換をしました。
- 12月18日(日) あべのハルカスにて開催の大阪市子ども相談センター里親相談会に参加しました。
- 12月21日(火) 子ども・子育て関連のNPO法人ハートフレンド様と学び直しレッスンの打合せをしました。
- 1月11日(水) 大阪市地域公共人材事業の第2回会議を開催しました。
- 1月18日(水) 保護者向けのアンケートを開始しました。
- 1月23日(月) 大阪府立大学と新カリキュラムの打合せをしました。
- 1月30日(月) 大阪市地域公共人材事業の第3回会議を開催しました。
- 2月14日(火)～28日(火) 保護者向けに新カリキュラム説明会を開催しました。
- 3月21日(火) 新レッスン デザイン国語研究レッスンのレッスン実施要項策定会議を本格化させました。
- 3月21日(火) 大阪市里親会主催の研修会に出席しました。
- 3月24日(金) キッズクラフトの赤座雅子氏と面談し、レッスンの監修を依頼しました。
- 3月31日(金) 新年度のレッスンに備え、コンピュータや調理器具を購入しました。





### ●管理部門

- 4月15日(金) 大阪市財政局に固定資産税償却資産を申告しました。
- 5月27日(金) 大阪法務局に財産登記を提出しました。
- 5月31日(火) 東住吉税務署に法人税を申告しました。
- 6月1日(水) 大阪市に活動報告書を提出しました。
- 6月9日(水) 大阪市に市民税・府民税を納税しました。
- 6月10日(金) 大阪法務局に役員登記を提出しました。
- 1月31日(火) 年末調整・固定資産税を申告しました。
- 2月16日(水) 新スタッフ 高橋あおいをアルバイト雇用しました。
- 2月24日(金) 平成29・30年度 大阪府市電子調達システムに申請しました。

### ●理事会部門

- 4月24日(日) 第1回理事会を開催しました。参加理事・正会員は5名でした。
- 5月28日(土) 平成28年度総会・第2回理事会を開催しました。参加理事・正会員は8名でした。
- 6月25日(土) 第3回理事会を開催しました。参加理事・正会員は3名でした。
- 7月23日(土) 第4回理事会を開催しました。参加理事・正会員は3名でした。
- 9月3日(土) 第5回理事会を開催しました。参加理事・正会員は7名でした。
- 10月9日(日) 第6回理事会を開催しました。参加理事・正会員は10名でした。
- 11月7日(日) 第7回理事会を開催しました。参加理事・正会員は3名でした。
- 12月12日(日) 第8回理事会を開催しました。参加理事・正会員は3名でした。
- 1月9日(日) 第9回理事会を開催しました。参加理事・正会員は3名でした。
- 2月11日(土) 第10回理事会を開催しました。参加理事・正会員は7名でした。
- 3月9日(水) 第11回理事会を開催しました。参加理事・正会員は5名でした。



## 養育支援:子どもサポートホーム事業の活動概要(個人事業)

子どもサポートホームは親と暮らせない子どもたちを養育里親として育てる養育支援事業です。この事業のコンセプトは、①社会的養護の実践、②養育技術の研究、③新しい家族の形の提言、の3点です。先の学習支援にしる、自立支援にしる、子どもたちの根源的な問題を解決する手段ではありません。子どもは愛されたいと願う生きものです。そんな子どもの願いは、同じ屋根の下で共にごはんを食べ、共に寝て、苦楽を共にして初めて満たされるものです。このため子どもデザイン教室では代表理事の個人事業として、養育里親をしています。

## 養育支援:子どもサポートホーム事業の活動報告(個人事業)

### ●ゆっくり歩を進めました。

4月、3人目の子どもを受け入れる話がありましたが、去年は子どもの就活、大学入試があり、お断りすることになりました。行き場のない子どもを受け入れられないのは忸怩たる思いです。何でもすぐに結果を求めたい私にはもどかしく感じました。ただ、諦めざるを得ないこともあるようです。10年以上前の私は里親にも児童養護施設にもまったく関心がありませんでした。そんな私がいるんな経験をして今、児童養護問題の端っこにいます。私が里親をすると言ったとき、家族は当然のように反対しました。

それでも2011年から里親を始めて、家族が壊れかけたり、また強く結びついたりしました。そんな家族がようやく徐々に里親を理解し、子どもたちとの良い関係が築き始めた今、ここは一つゆっくり歩を進めた方が結果的にうまく行く、そう考えました。

### ●消えない炎を灯したい。

私の里親の信条は「チャンスがあるのに、親と暮らせない理由で、そのチャンスを掴み取れない子どもの支援」です。我が家では高校生の子が大学受験に向けて猛勉強をしました。結果的には浪人となりましたが、十分に勉強をできる環境を提供できたと思います。中学生の子は成績の立て直しをしました。徐々にやる気が湧いています。勉強ができないというのは環境による要因が大きいようです。

教育とはいつか芽生えるかもしれない種を心の中に植えることです。今に生きる子どもは分からないでしょう。でもいつか分かる日がきます。私たちがそうであったように、教育とはそういうものです。親代わりとして「子どもの心に消えない炎を灯したい」そう考えています。

### ●織り上がる絆のように。

私の家内は、夏休みも毎朝塾に通う子どものために弁当を作ってくれます。山盛りの洗濯も朝早くから毎日してくれます。そんな家内を心底偉いと思うことがあります。例えば、下の子どもが駅に自転車を忘れたときなど、夜に一緒に取りに出掛けてくれます。高校生の子が奨学金の試験を東京へ受けに行くときも、朝早くから見送りに新大阪までついて行きます。私なら「一人で行きなさい」と放って置く所です。東京行きの新幹線の中、「寂しくて泣きそうだった」と子どもが言っていました。嬉しい言葉です。

我が家でも、いつもいる子が1日でもいなくなると、とても寂しく感じます。私たちは里親子として、そもそもが他人として暮らしています。しかし、こんな風に同じ時間を過ごしていると、やがて切っては切れない何かで縁のようなものが織り上がっていくように思えます。紆余曲折の里親物語も6年目に入りました。安定期に入ったと感じています。





### ●里親を始めて満5年になりました。

9月、5年目の里親更新講習を終えました。家族を巻き込み、バラバラになり、迷惑をかけています。ようやくここまで来られたことに感謝しています。しかし、振り返っても里親をしない私の人生などあり得なかったし、里親をすることで私たち家族は多くの真理を学びました。研修では「社会的”養護”から社会的”養育”へ」という話を聞きました。養育とはつまる所は愛です。子どもには、愛されたいと願う気持ちを受け止める、誰か揺るぎない軸が必要です。

でも、今のところ私たちはプレプレの軸です。しかし、独楽回しを逆再生で見ると、やがて綺麗に回る軸になることをイメージしています。最近、家内と里子と4人で夕食を過ごす時間があります。そんな時、学校のこと、将来のことを話します。子どもはちょっと面倒そうに、でもどこか嬉しそうに話を聞いています。ここ最近、何が一番嬉しいかということ、家内と子どもが会話する姿をみることです。そんな時間をたまらなく愛おしく感じます。

### ●夢を語り続けたい。

1人以上の子どもを5年養育するとファミリーホーム(6人迄の子どもを養育する住居型の小規模児童養護施設)を運営することができます。2016年、その基準年数を超えました。元々このファミリーホームがしたくて始めた里親です。しかし、その資格が取れた今、夢のファミリーホームは今のところまさしく夢です。協働者がいない限り、私の考えである自立支援が目的のファミリーホームは、採算性が悪く頓挫してしまいそうです。高学年児童の養育には時間とお金がかかります。

しかし、児童養護問題で圧倒的に足りない課題は自立支援です。措置解除後の支援です。児童養護施設や里親宅にいる間は、色々問題はありますが、ある意味、ゆりかごのなかです。真の問題は、そのゆりかごから出た後の様々な困難です。自立できる子はさらに高みをめざしてほしいし、自立自体が難しい子もいます。どんな子にも自立を支援するソフト(ノウハウ)や、支援施設のようなハードが必要です。自立支援を目的にしたファミリーホームの運営は社会的な課題でもあります。

夢を語るアフメーションという技術があります。夢は必ず叶います。ただ、声に出して喋らないと叶いません。実現不可能なホラみたいな話でも、いつかそれが誰かの耳に入り、やがて現実になることがあります。これからも夢を語り続けたいと思います。人生は短い。後悔などもってのほかです。どうせ何かをして生きるなら、人の役に立つことをして終わらせたいものです。

### ●世のためになり、自分のためになる生き方。

6年目を迎えた里親生活。2017年から次女が東京で働くようになりました。長女も結婚しました。今年からは夫婦と下の子どもたち二人との生活が始まります。いつかこんな日が来ると思っていました。というか、こんな日に備えて里親を始めたのかもしれませんが、よくいう話ですが、ひとは寄り添って人という字になります。自分が誰かの居場所になることで、自分自身の居場所を得る。私はとても合理的な考えだと思います。

賑やかだった子どもが遠く離れていくかと思うと何とも切ない気分です。今年私は56歳。この歳になると、人生の終わらせ方を考えます。世のためになり、それでいて自分のためになる、そんな人生を構想しています。今年で子どもデザイン教室は丸10年、この10年が夢のように駆け抜けていきました。さて、これからは生活が仕事であり、仕事が生きてある。そんな人生を味わい、楽しみたいものです。

平成28年度 決算報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

特定非営利活動法人子どもデザイン教室

| 収入の部        |            | 支出の部    |            |
|-------------|------------|---------|------------|
| 前期繰越金       | 3,483,088  |         |            |
| 1 会費収入      |            | 1 販売管理費 |            |
| 会員受取会費      | 2,905,640  | 役員報酬    | 786,900    |
|             |            | 給料手当    | 1,187,590  |
| 2 事業収入      |            | 法定福利費   | 148,678    |
| 子どもデザイン基金事業 | 1,224,141  | 福利厚生費   | 38,890     |
|             |            | 外注費     | 464,918    |
| 3 補助金収入     |            | 荷造運賃    | 29,274     |
| 補助金・助成金     | 1,326,320  | 交際費     | 66,747     |
|             |            | 会議費     | 55,541     |
| 4 寄付金収入     | 1,858,590  | 旅費交通費   | 134,709    |
|             |            | 通信費     | 374,640    |
| 5 その他の収入    | 29,200     | 消耗品費    | 1,079,056  |
|             |            | 事務用品費   | 58,122     |
|             |            | 修繕費     | 25,272     |
|             |            | 水道光熱費   | 163,025    |
|             |            | 新聞図書費   | 42,628     |
|             |            | 諸会費     | 25,330     |
|             |            | 支払手数料   | 47,548     |
|             |            | 地代家賃    | 972,000    |
|             |            | 賃借料     | 16,000     |
|             |            | 諸謝金     | 117,000    |
|             |            | 租税公課    | 94,300     |
|             |            | 支払報酬料   | 21,600     |
|             |            | 支援基金費   | 410,200    |
|             |            | 寄付金     | 99,297     |
|             |            | 減価償却費   | 266,562    |
|             |            | 雑費      | 4,037      |
|             |            | 他勘定振替高  | -556,040   |
| 事業収入合計      | 7,343,891  | 販売管理費合計 | 6,173,824  |
| 6 営業外収益     |            | 2 営業外費用 |            |
| 受取利息        | 40         | 支払利息    | 14,112     |
|             |            | 当期純損益金額 | 1,155,995  |
|             |            | 次期繰越金   | 4,639,083  |
| 合 計         | 10,827,019 | 合 計     | 10,827,019 |

上記のとおり相違ありません。

平成29年5月24日

特定非営利活動法人子どもデザイン教室  
監 事 今 中 博 之

特定非営利活動法人子どもデザイン教室  
代表理事 和 田 隆 博